2025 年度秋学期派遣
立命館アジア太平洋大学（APU）
国内交流プログラム募集要項

立命館大学と立命館アジア太平洋大学（APU）は、双方の教育を活かし、両大学における教育の一層の充実を図ることを目的としています。

国内交流プログラムは、立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）に半年あるいは１年間「特別聴講生（交流学生)」として授業科目の受講および単位の取得ができる制度です（秋学期派遣は半年のみ)。立命館アジア太平洋大学での勉学および学生交流を通じて、皆さんの多様な学問的好奇心に応えることができるプログラムとなっています。

この期間は在学期間に算入され、取得した単位は、基本的に本学の所属する学部において認定され、卒業に必要な単位として算入されます。

Ⅰ．プログラム概要

１．本プログラムの目的

（１） 双方の教育資源を活かし、両大学における教育内容の一層の充実
（２） 双方の学生交流の促進

２．期待される APU での学習効果

（１） 英語で行われる授業の履修を通じた英語力向上やプレゼンテーション能力向上
（２） 国際学生との交流を通じた他国の文化や考え方を理解する力の向上
（３） 上記の能力向上により海外留学の準備

３．派遣期間

秋学期（2025 年 9 月 26 日～2026 年 3 月 31 日）

４．募集人数

10 名

５．派遣先学部

アジア太平洋学部（APS）
国際経営学部（APM）
サステイナビリティ観光学部（ST）

６．派遣中の立命館大学での学籍状態

留学

７．APU での身分

特別聴講学生

８．単位認定

単位取得した科目のみ以下の通り T 評価で認定します。(F 評価は認定しない)

- 同一内容と認められる科目については、所属大学の設置科目の単位として認定（T）
- 同一内容と認められない科目については、教養科目（基礎科目、基礎教育科目)、専門科目（演習含む）とも、それぞれ「APU 交流科目」の単位として認定（T)。ただし総合心理学部生は「APU 交流科目」での単位認定は不可。
- 修得した単位は **2025 年度秋学期の修得単位**として認定されます。

９．登録単位数の目安と単位認定の上限

立命館大学で認定される単位数には以下の通り上限があります。

派遣期間	APU での受講登録上限単位数(目安)	立命館大学での 単位認定上限単位数
秋学期	所属学部・回生の年間受講登録上限単位数の半数 あるいは 所属学部・回生のセメスター受講登録上限単位数	60 単位以内 ※

※ 単位互換科目、立命館アジア太平洋大学、海外留学、入学前単位認定など他大学で認定された単位数を含んで 60 単位以内です（編入学、転学等を除く)。特に、過去に海外留学を終えて単位を認定されたことのある方は注意をしてください。

１０．学費

学費については、通常どおり立命館大学に納付することになります。

１１．履修可能科目

アジア太平洋学部（APS)、国際経営学部（APM)、サステイナビリティ観光学部（ST)いずれも 2023 年度カリキュラムの科目が履修対象となります。

一部履修制限があり、履修できない科目があります。

詳細はそれぞれの学部の科目一覧（以下リンク)を参照してください。

https://www.ritsumei.ac.jp/life/apu/info/curruculum.html/

履修不可科目はグレー（履修制限に〇)で網掛けがされています。

派遣時期によっては開講していない科目があります。

【その他履修制限】

① 英語の言語クラス
スタンダードトラックの専修英語科目のみ受講可能。

② アジア太平洋言語（AP 言語）
中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、マレー語・インドネシア語、スペイン語の 6 言語を開講。定員に空きがある場合のみ、受講可能。

③ 当該学生の母語である言語科目
履修不可

④ 英語で開講される専門科目の受講
受講可（目安として、TOEFL ITP®テスト 480 点相当以上の言語運用能力を想定して授業が行われる。）

⑤ セッション科目（集中講義）
春学期派遣の学生は夏セッションのみ、秋学期派遣の学生は冬セッションのみ、通年派遣の学生は夏セッションと冬セッションを受講できる。

⑥ 演習科目
3 回生演習については学生の申請に基づき担当教員が履修の可否を判断する。

◆　履修に関する情報は、以下のホームページで確認できます。

■履修・科目一覧ホームページ

https://www.ritsumei.ac.jp/life/apu/info/curruculum.html/

■シラバス

各セメスターのシラバス公開は該当セメスター開始の約 1 か月前ですが、過年度のシラバスを参照できます。(シラバス閲覧にログインは不要です。右側のメニュー「講義から検索」から講義名称等を入力し、検索してください。)

https://portal2.apu.ac.jp/campusp/slbsskgr.do

以上の情報をもとに、各自、履修を希望する科目を検討してください。

■立命館アジア太平洋大学のホームページ

http://www.apu.ac.jp

１２．住居

立命館アジア太平洋大学の学生寮（APハウス3）を利用できます。（交流学生はAPハウス３以外の学生寮の利用は出来ません。）

【APハウス3】

オフキャンパスにある学生寮です。APUまでバスで15分、亀川商店街まで約５分のところに位置しています。管理人も24時間常駐しており、皆さんの安心・安全にも配慮した学生寮となっています。APハウス３の設備等、各情報に関しては以下のスチューデント・オフィスのウェブサイトを確認してください。部屋の間取り図や写真も確認できます。

https://www.apu.ac.jp/studentsupport/aphouse/house3/info/

〒874-0013　別府市古市町25組
最寄りバス停：関ノ江海水浴場前　徒歩10分　*APUからバスで約15分

寮費等の詳細は、下記の通りです。
派遣許可発表時に、入寮の可否を合わせて発表します。
寮費は派遣開始前に、一括で248,000円を納入（振込）していただきます。

【入寮期間】

・秋学期留学の入寮期間：2025年９月指定入寮日～2026年２月15日の５ヶ月間

入寮費	33,000円
寮費	43,000X5＝215,000円
合計	248,000円

【1か月に必要な寮費】

住居費	共益費	水道光熱費	寝具レンタル料	合計
31,000円	3,000円	7,000円	2,000円	43,000円

＊入寮費：納入後の返金不可。
＊交換生の敷金支払は必要ありません。ただし居室に損害を与えた場合は実費を請求します。
＊電気代は水道光熱費に含まれます。

※入寮期間を超過して退寮する場合、1ヶ月分の寮費が必要となります。又、入寮期間満了前に退寮する場合、寮費は返金しません。注意してください
※金額は改定されることがあります。

１３．奨学金

「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」（以下、チャレンジ奨学金）
この奨学金は、参加費用の一部を補助することにより、プログラムへの参加・修了を奨励する制度です。本プログラム派遣者のうち「海外留学チャレンジ奨学金」に申請した方に奨学金を支給します。

（1）本奨学金の申請方法について
本奨学金の募集案内を派遣者ガイダンス時に配布します。

（２）支給額・支給時期・支給方法

2025 年度秋学期派遣者の支給額、支給時期、支給方法は以下を予定しています。詳細は本奨学金の募集案内にてご案内します。

支給額	1 セメスター派遣:15 万円
支給時期	2025 年 11 月以降に振込予定（現地渡航確認後に支給）
支給方法	本人名義の銀行口座へ振込

（３）受給にあたっての注意点

① 本留学に関する学内・学外諸機関・団体等による奨学金を別途受給している、あるいは受給することが予定されている場合は、本奨学金に申請する前に衣笠学びステーション（APU 国内交流プログラム担当）まで相談してください。本奨学金との併給ができない場合があります。

② 受給者が次の項目のいずれかに該当したときは、支給決定の全部または一部を取り消すことがあります。この場合において、既に支給した奨学金の全部または一部の返還を求めます。

・留学プログラムへの参加を中止、または期間が変更されたとき。
・出願書類等への虚偽の記載等の不正の事実が判明したとき。
・この奨学金の支給の要件を満たさなくなったとき。

③ 本プログラムが催行中止となった場合やプログラム内容が変更された場合は、支給の有無、支給金額等が変更となります。予めご了承ください。その際は改めてご連絡します。

１４．APU での学生サービス

図書館、課外活動、生協の利用等の学生サービスについては、原則として、立命館アジア太平洋大学学生と同様の取り扱いとなります。

１５．辞退

受講許可が降りた時点で APU での学籍が発生します。

許可発表後の辞退は、理由にかかわらず原則として一切認められません。

Ⅱ．出願について

１．出願資格

以下の①～⑤の条件を満たすこと。

① 法学部、産業社会学部、国際関係学部（国際連携学科を除く）、文学部、経済学部、理工学部（環境都市工学科 2018～2021 年度入学者を除く）、スポーツ健康科学部、生命科学部、薬学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部の所属学生であること。

② 国内交流派遣の開始時までに少なくとも１学年の学修を終了していること。ただし、派遣時において卒業該当回生でないこと。

③ 修得単位数が、出願時点までに学修が終了している在学学期×16 単位以上であること。

④ 学部が指定する卒業に必要な科目（外国語科目など）がある場合、出願時までに配当されている科目を全て修得していること。

⑤ 既に派遣されたことがある者は出願できない。

【注意】

※ 出願書類に不備がある場合や、提出期限を過ぎている場合は一切受け付けません。

※ 留学中、休学中の場合も出願可能ですが、面接等の必要な手続を行えることが条件です。

２．出願期間

５月 19 日（月）9:00a.m.～５月 26 日（月）11:00a.m.【厳守】

３．出願書類提出先

以下の URL にて申請を行って下さい。出願票へスクリーンショットなどを貼り付けた上で、一つの PDF ファイルとして提出を行って下さい。

＜申請ページ URL＞

https://cw.ritsumei.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20250421110621092364872

４．提出書類

① APU 交流学生出願票（所定様式）

② 言語運用能力を示す書類(TOEFL®, TOEIC®, IELTS™, CASEC スコア等)のスクリーンショット

> スコアを紛失した場合は、出願票の「学内受験テストスコア紛失」にチェックして提出してください。学内で団体受験をした最新のテストスコアが選考の際に使用されます。

③ CAMPUS WEB「履修状況確認」ページ内「履修状況一覧」「科目一覧」「GPA」画面のスクリーンショット

④ manaba+R「コース一覧」（時間割表）のスクリーンショット

⑤ 同意書: 要父母等直筆サイン（所定様式）

> 父母等が遠方在住の場合、同意の上で直筆サイン部分をスクリーンショットのうえ、切り取って同意書へ貼り付けてご提出ください。

５．選考

所属学部において、志望理由書、言語運用能力、GPA および面接によって選考します。面接の日程については所属学部より本人宛に連絡します。

６．許可者発表

発表日時：2025 年 6 月 25 日（水）13：00
許可発表：manaba+R(個人宛のお知らせ)にて発表

７．派遣者ガイダンス

派遣許可者は以下のガイダンスに必ず出席する必要があります。原則として欠席は認めません。

日時：2025 年 7 月 10 日（木）
実施方法:対面とオンライン(Zoom)で実施　（いずれかの方法でご出席下さい。）
※開始時間、URL 等の詳細は、許可発表時に対象者に通知

８．出願にあたっての注意

ほかに履修しているプログラム等がありましたら、必ず、応募前にそのプログラムを管轄する事務室で、APU 交流参加を希望している期間の履修について確認を行ってください。各種プログラムとの両立については、十分な履修計画が必要となります。

【教職課程履修者】

APU 派遣中は、教職課程の科目を履修することができません。教職課程では、各回生で履修すべき科目が配置されていることから、派遣期間によっては、4 年間で免許状取得に必要な単位が修得できない場合があります。出願する前に、必ず教職教育課および所属学部事務室に相談してください。

＜問い合わせ先＞
衣笠学びステーション（APU 国内交流プログラム担当）

衣笠キャンパス学而館 1F
Email：apu-tank@st.ritsumei.ac.jp
TEL　：075-465-7865